

林業福島

No. 576

題字 福島県知事 佐藤雄平



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

8

2012

かんしゅう■福島県農林水産部
表紙の写真■突貫作業



国有林を巡る動きと 平成24年度の取組について

福島森林管理署署長
中山 浩次

国有林野事業については、平成二年十二月に農林水産省が策定した「森林・林業再生プラン」において「組織・事業の全てを一般会計に移行することを検討」とされ、その後、平成三年十月の行政刷新会議において、特別会計についての事業仕分けの結果として、「特別会計を一部廃止し、一般会計に統合、負債返済部分は区分経理を維持」との評価がなされました。

また、平成三年七月に閣議決定された「森林・林業基本計画」において、国有林については「国民の森林」として国が責任を持って一体的に管理する必要があり、公益重視の管理経営を二層推進するとともに、組織・技術力・資源を活用して、林業技術の開発普及、人材育成をはじめとした民有林への指導やサポートなど我が国の森林・林業の再生に貢献することとし、そのために債務を区分経理した上で、組織・事業のすべてを一般会計に移行することを検討する旨の記載がされました。

さらに、林政審議会の国有林野部会において検討がなされ、平成三年十二月には「今後の国有林野の管理経営のあり方について」の最終報告がとりまとめられました。

以上のような経過を踏まえ、国有林野事業を一般会計へ移行するための関係法案が本年の通常国会に提出され、六月二日の衆議院本会議で可決・成立しました。

この法律では、国有林野事業について、地域の実情に応じて国有林と民有林の一体的な整備及び保全を推進する仕組みを創設するとともに、特別会計による国営企業の形態を廃止し、一般会計で実施する事業に見直すこととし、国有林野管理法や森林法、特別会計に関する法律の一部改正等が規定されており、平成二五年四月一日から全面施行されます。なお、既存の累積債務については、林産物収入等で返済し、新たな国民負担は生じさせないこととし、債務処理を経理する暫定的な特別会計が設置されることとなりました。

さて、平成二四年度の福島県の国有林については、東日本大震災により被災した森林の早期復旧に引き続き努めるとともに、本年四月に設置された「森林放射性汚染物質対策センター（国有林除染センター）」が中心になり、市町村や関係機関と連携を図りつつ国有林の除染に取り組んで参ります。また、市町村等からの除染土壌等の仮置場の国有林への設置要望等に対し積極的に協力して参ります。

また、森林・林業再生プラン等を踏まえ、搬出間伐や路網整備の加速化、民有林と国有林の森林共同施業団地における取組の促進、造林コストの低減へ向けたコンテナ苗の造林や木質バイオマス需要への対応など、平成二五年度からの一般会計への移行も念頭に、民有林との二層の連携を図りつつ、福島県の森林・林業の再生に全力で取り組んで参ります。

《も く じ》

とびら	
国有林を巡る動きと平成24年度の取組について	
福島森林管理署署長 中山 浩次	1
第63回全国植樹祭に参加して	2
第38回福島県緑の少年団〈絆づくり〉大会	3～4
皆川林野庁長官と緑化の推進を懇談	5
「ごちそう 福島満喫フェア」開催について	5
第41回全国林業後継者大会に参加して	6

林道を訪ねて3,000kmシリーズ（第10回）	
「玉梨沼沢線との出会い」	7
普及指導員通信	8
木材市況・ふくしま東西南北	9
木の施設	10
水源林だより	11
木連だより	12
はなしのひろば	13

第六三回全国植樹祭に参加して

福島県指導林家 君島 忠夫

第六三回全国植樹祭が、平成二四年五月二七日(日)、「育むいのち」彩りの森・光る海・碧い空 燦めきの発信」をテーマに、「山口きらら博記念公園」(山口県山口市阿知須)で開催されました。

全国植樹祭は、緑に対する理解を深めるために開かれる国土緑化運動の中心的な行事で、山口県での開催は、昭和三十一年の第七回大会(防府市)以来五十六年ぶりのことでした。式典には、二万人を超す招待者の一人として参加させていただき、クロマツやヤブツバキなどの苗木を植栽しました。

植樹行事では、東日本大震災被災地の早期復興を願って、植樹会場内に設けられた「復興の森」に、東北三県(岩手県、宮城県、福島県)をはじめとする県内外からの参加者全員で、植樹活動を行いました。東日本大震災で甚大な被害となった被災地と、被災者の大きな傷に思いを寄せ、一生懸命

に行っている姿が感動的でした。

また、東日本大震災の津波で流失した海岸林の早期再生を支援するため、岩手県、宮城県、福島県の三県に山口県で育てられた抵抗性クロマツ(きらら松)が贈呈され、福島県議会議長が代表して謝辞を行いました。

記念式典では、天皇皇后両陛下をお迎え後、大会会長山口県知事による主催者あいさつに続き、国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール、全日本学校関係緑化コンクールなどの表彰が行われ、福島県の塩田修二氏が、緑化功労者部門で、国土緑化推進機構理事長賞(感謝状)を受賞されました。

天皇皇后両陛下のお手植えは、山口県の歴史や文化との関わりが特に深い樹種を選定し、天皇陛下がアカマツ、クスノキ、シイノキを、皇后陛下がクロマツ、ヤブツバキ、ナツミカンの苗木を「森」の字をかたどった場所に植樹されました。お手

植えされた苗木は、会場内で県民の森林づくり活動のシンボルとして大切に管理、育成されるそうです。

大会宣言では、国土緑化推進機構理事長が、国民参加の森林づくり運動の一層の展開と林業の再生・木材産業の振興、自然に親しみ、緑を育む活動の推進に重点を置いた緑化運動の発展について宣言しました。

山口県議会議長の閉会のことばで、全てのプログラムは終了し、次年度開催県である鳥取県に引き継がれました。

最後に、全国植樹祭に参加した感想は、既存の建物や付帯施設が有効に活用されており、会場スペースも十分な面積が取られ、また、植樹会場が式典会場に隣接しているなど、参加者に沿った会場づくりが行われていました。また、司会進行や式典アシスタントを地元の高専学校の生徒さんが担うなど、自然な式典運営には大変感心させられました。



天皇皇后両陛下



お手植え



植樹会場

第38回福島県緑の少年団《絆づくり》大会

福島県緑化推進委員会



350名出席の式典

第三八回福島県緑の少年団《絆づくり》大会は、東日本大震災の影響により昨年は開催を中止しましたが、本年は森林や緑の恵みに感謝し、緑を守り・育てる活動を展開するとともに、震災からの復興を願う大会として、去る七月二十五日（水）に、猪苗代町体験交流館「学びいな」において式典を開催し、同町昭和の森で体験交流会を開催しました。



表彰式の様子



挨拶をする齋藤卓夫育成協議会会長

福島県緑の少年団育成協議会、（社）福島県森林・林業・緑化協会の主催、福島県・福島県教育委員会・関東森林管理局・猪苗代町の後援により、参加十二団、約三五〇名の出席で盛大に開催しました。

式典は、福島県緑の少年団育成協議会の齋藤卓夫会長の開会の挨拶に続き、佐藤雄平福島県知事、前後公猪苗代町長から来賓祝辞をいただきました。

その後、平成二四年度緑の少年団活動発表優秀団体の表彰式と優秀団体の活動発表を行いました。午後からは「森林（もり）は心のふるさと」と題して、ラジオ福島のパーソナリティー森和美さんの森にまつわる昔話や地元猪苗代町出身の世界的な医学者、野口英世と母シカのエピソードや母シカからの手紙の朗読など、《絆づくり》にふさわしいイベントを楽しみました。

最後に、猪苗代町立緑小学校緑の少年団の佐藤竜希さんが高らかに「誓いの言葉」を述べて式典を終りました。

式典終了後、昭和の森に移動して森林の中で体験交流活動（自然観察会）を楽しみながら交流を深め、参加者全員無事に大会を終了することができました。



講演をする森和美さん



優秀団体の活動発表

平成24年度 福島県緑の少年団活動発表大会 受賞少年団

- 福島県知事賞
塙町立高城小学校緑の少年団
- 福島県教育委員会教育長賞
会津若松市立川南小学校「ホタルの里」緑の少年団
- 関東森林管理局長賞
石川町立中谷第一小学校中一みどりの少年団
- 福島県緑の少年団育成協議会長賞
会津若松市立大戸小学校緑の少年団
- 奨励賞
会津若松市立謹教小学校緑の少年団
- 奨励賞
小野町立飯豊小学校緑の少年団



誓いの言葉を述べる佐藤竜希さん



昭和の森での体験交流活動の様子

きのこで地域を元気に (社)福島県森林・林業・緑化協会 きのこ振興センター

●菌床栽培用ナメコ(登録品種)

福島N1号



安定多収量

福島N2号



大型・滑り少

●原木栽培用ナメコ(登録品種)

福島N3号



コナラ原木で安定・多収量
食物繊維、ペクチン様物質豊富

福島N4号



○その他各種種菌

○菌床 ・シイタケ
・ハタケシメジ
・ムラサキシメジ等

○マイタケホダ木 ○栽培資材

〒963-0112 郡山市安積町成田字西島坂7-2 Tel 024-947-2188 Fax 024-947-6926
E-mail: f-kinoko@mtj.biglobe.ne.jp URL: http://www.f-kinoko.org

皆川林野庁長官と緑化の推進を懇談

福島県緑化推進委員会

去る七月十七日、森林・林業・緑化協会の齋藤卓夫副会長と須永事務局長は林野庁を訪れ、皆川林野庁長官と本県の復興の状況や緑化の推進などについて約一時間にわたり意見交換を行いました。

皆川長官は本県いわき市の出身で本県の復興への熱い思いを語り、協会からは、森林の被災状況や除染さらには、その後の復興への取り組みや緑化や緑の募金の状況について説明し、意見を交わしました。

また、その際には、国土緑化推進機構の梶谷専務理事、青木常務理事とともに国土緑推の Mascot キャラクター「どんぐりくん」やファミ



皆川長官とキャラクター

リーマートのキャラクター「エコロン」も同席し、活動をPRするとともに、全国で初めて本県で行った「森の教室」イベントを紹介するなど、これからの本県の緑化推進を積極的取り組みを確認しました。



「絆」木の積木を贈呈



意見交換会の様子

「ごちそうふくしま満喫フェア」

開催について

福島県の農林水産物及び六次化商品などの「食の力」を、県内をはじめ全国へ発信する「ごちそうふくしま満喫フェア2012」を、平成24年九月八日（土）～九日（日）の二日間、ビッグパレットふくしま（郡山市）で開催します（主催 ふくしま・地域産業六次化推進協議会、福島県、共催 東邦銀行）。三回目を迎える今年は、さらにパワーアップし、県内食品産業関係事業者200社以上が出展します。

なみえ焼そばや福島餃子、会津ソースカツ丼、会津カレー焼きそば等の御当地グルメや、県内各地の名物料理、イチ押し商品などの試食、実演販売のほか、著名ゲストによるステージイベントなどが盛りだくさん。

また、八日（土）には、全国各地から集まった約200点の日本酒のきき酒ができる「全国蔵元自慢酒祭り」が同時開催されます。

県内外から、五万人以上が集う、県内最大規模の食の祭典イベントです。ぜひ御来場ください！

問 福島県農産物流通課
電話 〇二四一五二一七三七

ふくしまには食がある、夢がある！

食の祭典

ごちそうふくしま満喫フェア2012

9/8(土) 10:00~17:00
9/9(日) 10:00~16:00

会場 **ビッグパレットふくしま** 郡山市南三丁目52番地

ふくしまからはじめよう。
Future From Fukushima.

主なステージ出演者



山口智充



宮田和弥
JUN SKY WALKER(S)



みちのくボンガーズ

その他楽しいイベント盛りだくさん

ごちそうふくしま満喫フェア2012

第四一回全国林業後継者大会に参加して

林研グループ連絡協議会長 蛭田 一

森林・林業の再生に向けて、人・技・仕組みをテーマに、第四一回全国林業後継者大会が、平成二十四年五月二六日、山口県山口市ホテルニュータナカで開催された。全国から林業後継者六〇〇余名、本県より指導林家副会長君島忠夫氏と私が参加した。開会のことは主催者山口県副知事・岡田実氏・全国林業研究グループ連絡協議会会長・田爪弥栄氏が、歓迎のことは山口市長・渡辺純忠氏が、来賓として林野庁長官・皆川芳嗣氏、全国林業改良普及協会会長・西場信行氏がそれぞれ挨拶された。

地域活性化が本来森林林業再生プランの目標であり、命の循環ともいえる林業が断たれつつあるなか、木材の利用のしくみ、出口対策が動くようにする方向付けでもう一度「循環の輪」が結べるように、との今回のテーマに沿った話があった。

活動発表では、①萩市むつみ中学校三年生の生徒が「学校林を通して

学んだこと」と題し、昭和五〇年代学校林にマツタケが生えてマツタケ狩りが学校行事になったこと、近年収穫が減少し、対策として山の整備調査をしたこと、その成果を詳細に発表した。

続いて②山口県立山口農業高等学校二・三年生の生徒が、「後継者の育成を目指した林業教育活動について」と題し、林業従事者を志した取り組みについて発表した。

山口県で唯一林業関係の学科があるこの学校では、林業事業者の協力のもと、間伐や大型林業機械操作手法など林業体験研修を実践。作業後は「疲労感より達成感が大きい」と、その充実ぶりを語った。

③山口県林研グループ連絡協議会女性部会、田中恵子さんは、「林業女性が活動する取り組みについて」、平成六年設立した部会誕生の経緯、活動内容について発表した。「森からの贈り物」と題し、山の恵みを利用し、手心を加えた作品を展示販売

しており、最近ではインターネットでの販売も行なう等、起業への足がかりとして躍進しているとのこと。

基調講演に移り、「森林利用の現状と林業の再生に向けた今後の取り組み」では、東京大学大学院農学生命科学研究科教授・酒井秀夫氏を講師に、主に最近増加の傾向にある自伐林家の魅力について話された。

林業の自立再生に向けての主役は自伐林家であり、小規模森林所有者が自発的木材生産を始め、林業の新たな主役になる、これを自立再生ではなく自立新生と呼ぶとのこと。中古林業機械を購入し、作業能率を求めない作業システムで結果的には安定した生産を長期にわたり行なうことができるという実例を紹介したが会場内がどよめく。収益が不明瞭だとのブライニングだったのだろうか。パネルディスカッションでは、酒井教授をコーディネーターに四名のパネリストが「川上&川下の連携を」との話を交える。

その中で、(株)安成工務店代表取締役・安成信次氏は曰く。工務店が林産地と連携した地域循環型住宅を目指し、木造在来工法で年間一二〇棟規模の家づくりを行っている。柱、梁を見える配慮をし、和洋どちらにも向く部屋づくりで、都会で流行しているローコスト、プレハブメーカーで作れないデザインを特徴としている「木の家」というもの。

さて今、住宅建築用柱の五〇割以上がすでに集成材と聞く。柱材が素材価格の「中心」柱」だったと思いついていた分わびしい。

又、素材生産の低コスト化が必要と言うにたやすいが、どこまでしを削ることが可能だろうか。楽しく山に入る道標はありやなしや。

東日本大震災で昨年の林業後継者大会は、岩手、宮城、福島三県はいずれも出席できずじまいだった。今年はずれの出席が可能になった。

かつての全国の林業仲間の親しい笑顔に会った。話をしたとたん、ウルツとなった涙腺がゆるんで泣きそうになったような、ならないような、なったような…。





林道を訪ねて3,000kmシリーズ（第10回）

玉梨沼沢線との出会い

技術士 中村多伸

路線名	玉梨沼沢線	幅員	5.00m	延長	11,115m
市町村名	大沼郡金山町玉梨地内				
開設年度	昭和49年～60年	事業名	広域基幹林道開設事業		

1. 玉梨沼沢線との出会い

- ① 当該林道との出会いは、昭和50年頃かと記憶しているが、玉梨側の橋梁検査に出向いた際、橋梁の左右を拡幅するため、三本の主桁により調整する設計であったが、施工ミスがあり、ネジレ現象が起き大々的な手直しの施工を余儀なくされる事件が最初の出会いである。
- ② この出来事以前の昭和48年頃に、同じ金山町にある「三条線」（現在の本名室谷線）での橋梁の「再施工」した事件等があり、各地で橋梁の手直し工事が発生する等、検査行為に不安な日々を送った経験があり、数年後に自分が直接係わることになるとは思わなかった。
- ③ この事件が、その後の設計に反映されて、林道では初めての「カーブ橋」（高森橋）が出来ることになる。何でも体験して見ることは得るところが多くあるものである。

2. 現地の現状

- ① 金山町林道は、地域住民との関わりが強く、林道に対する熱意が高いことで知られているので、期待どおりの維持管理がなされていたのは嬉しかった。
- ② 路面は舗装され、安全で快適な環境が確保され、側溝等も良く管理され大切に地域の方々に利用されていることが感じられた。

3. 技術的な課題と現状等



カーブ橋（高森橋）

- ① 積雪地帯における、法面保護工の根固構造物は2 m程度の最小限の構造物を設置して、法面保護工を実施した経過は、法面の植生も良好で目的を達している。
- ② 法面に最小限の根固構造高を2.0m以下にして、入間方不動沢線（三島町）でのモルタル吹付け施工後のクラック処理に頭を痛めていたケースをモデルにして、根固め構造物を施工して、凝縮する前のモルタルの移動を最小限にすれば、クラックを防止できないだろうかという提案が（今は亡き木須康男君・渡辺寅男さんの提案）、改良事業で実施され、経過は良好でクラックが少なくなったこと等からその後全県的に活用されるようになった。
- ③ 重複するが、在来種子の導入を図って法面緑化を施工した現場は、洋種子から在来種子に転換され見事に初期の目標が達成されていた。
- ④ 積雪地帯で防護策として、一時広く使われたガードレールは、雪の重量で変形するため、羽根の部分を二重に固定する等の措置をした施工箇所は、不思議に破損変形している区間が少なかったが、積雪地帯ではガードロープを利用すべきだと思います。

・ひとり言・

県職員というのは凄いですね。選抜試験に合格して採用なれば、簡単な研修はありますが、指導する立場になります。理屈は色々ありますが、それぞれのセクションに関係する、必要な資格は取ってから指導するようになるとベストです。技術士・土木施工管理技士・林業技士等々ですが、日々研鑽を怠らないよう計画的に取得することが望めます。しかし、取得すれば良いというだけではありませんよ。

「夏休み森林教室 in 棚倉町」 の開催

■ 県南農林事務所
林業普及指導員 高橋 伸二

去る8月1日（水）、東白川郡内4町村の小学校児童を対象とする「夏休み森林教室」が棚倉町の山本公園を会場に開かれました。

このイベントは、東白川地方公民館連絡協議会、県南地方林業協会、県南農林事務所の主催、各町村教育委員会、奥久慈流域林業活性化センター等の後援により開催しているもので、今年で8回目を数える夏の恒例行事です。

郡内各方向より173名の児童が参加し、12班に分かれて、指導者（もりの案内人、グリーンフォレスト、森林管理署職員、農林事務所職員）の案内のもと自然散策体験と木工体験に取り組みました。当日は、30度を超える暑さでしたが、森林内は日差しも和らぎ、絶好の活動日和となりました。

〈自然散策体験〉

① 親はどこだ？

稚樹を見て、葉の大きさ・形などをヒントに親木（母樹）を探すゲームです。

それぞれの樹種の特徴や用途について、身近な生活と結びつけて学ぶことができるよう意識しました。（アカマツ、モミ、ミズナラ、ホオノキ、アオダモ等）

② 木製コースター作り

チェーンソーを使って、ヒノキの小丸太を輪切りにします。

当森林教室の定番メニューで、県南地方林業協会会員の建設会社の社員の方々に指導役を務めていただいています。子供に手を添えてチェーンソーを保持するため、かなりの重労働です。子供達は、樹皮を剥くのがおきまりになっています。（写真1）

③ ターザンロープ

太枝にぶら下げたロープに足をかけブランコのようにして遊びます。子供達からはひととき高い歓声が上がりました。鳥や虫になったつもりで森林内を見渡すことができます。（写真2）

④ フィールドビンゴ

ビンゴカードに描かれた「自然の宝物」を目・耳・鼻など五感を使って探し当てます。自然観察をゲーム感覚で楽しむことができます。（くものす、きのこ、きのみ等）

⑤ 水に親しむ

裸足で沢水に触れ、森が水を育てていることを意識しながら、水のきれいさ、冷たさを実感しました。大人も子供も汗が引いたところでもうひとがんばりです。（写真3）

〈木工体験〉…木製ストラップ作り

異なる色の木材を組み合わせた積層材の木片を材料に、紙ヤスリを使って角を丸めたり、表面を整え、最後に蜜ろうワックスで磨き上げました。



（写真1）チェーンソーで木製コースター作り



（写真2）ターザン気分!?



（写真3）水に親しむ子供達

最後に、当森林教室の運営に御協力いただいた地元高校生を始めとする多くのボランティアスタッフの方々に、この場を借りて御礼申し上げます。



素材の価格〈工場着価格〉（5月15日現在）

（単位：m³当り千円）

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	8 (8~8)	0	(0~0)	0	9 (9~9)	0	8 (8~9)	0
		10~13		並	スギ	10 (9~12)	0	8 (7~9)	△1	11 (11~11)	0	10 (7~12)	0
	中	14~18	3.00	並	スギ	11 (9~12)	0	10 (9~10)	0	10 (9~11)	△1	10 (9~12)	△1
				並	ヒノキ	17 (13~23)	△1	(0~0)	0	15 (15~15)	△1	17 (13~23)	0
		6.00	並	スギ	19 (15~25)	0	(0~0)	0	15 (14~15)	0	17 (14~25)	0	
			並	ヒノキ	24 (24~24)	0	(0~0)	0	25 (25~25)	△1	25 (24~25)	0	
	20~28	3.65	並	スギ	12 (11~13)	0	12 (11~12)	0	11 (10~12)	0	11 (10~13)	△1	
		4.00	並	アカマツ	10 (8~14)	0	13 (13~13)	0	9 (9~9)	0	10 (8~14)	0	
		1.80	並		7 (5~8)	1	9 (9~9)	0	8 (8~8)	0	8 (5~9)	1	
	外材	30以上	10.00	並	米ツガ	22 (22~22)	0	(0~0)	0	23 (23~23)	0	23 (22~23)	0
並				米マツ	25 (24~26)	0	26 (26~26)	0	24 (23~24)	1	25 (23~26)	1	
28以下		4.00	並	エゾマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	22 (22~22)	0	22 (22~22)	0	
			並	ベニマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	22 (22~22)	0	22 (22~22)	0	
70~90		8~14	並	ラワン	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	
			並	アガチス	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	
パルプ用材	-	-	並	マツ	(0~0)	0	8 (8~8)	△1	(0~0)	0	8 (8~8)	△1	
			並	広葉樹	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	

四月の原木市場への入荷状況は、前月比で三割減（前年比十三割減）の二三、九三立法材となつている。
 販売量については、前月比十一割減（前年比二六割減）の二三、〇八立法材となつている。
 五月の価格については、弱保合である。

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(0~0)	0	(0~0)	0
	13~14		並	カラマツ	(0~0)	0	8 (7~8)	0
	16以上		並	カラマツ	(0~0)	0	9 (8~10)	0

注) 1. 前月差の△印は値下りを、*印は前月実績がなかったことを示す。
 2. ()内は各地域の価格幅、()外は各地域の平均的価格を示す。
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。

日本は木の文化と言われるほど、木材を私たちの生活の中に取り入れ独特の技術と文化をはぐくんできました。全国各地の名所旧跡はもとより、各地区の集落に存する神社仏閣にいたるまで、先人が残した木造・木製の文化が存在します。北斎が描

たたとえば有名な「遠江山中」では、ふんどし姿の木挽き職人が角材の上に乗って板材を挽いている様子と鋸の「目立て」の様子が描かれ、帯鋸などない時代の製材作業を伝えています。また、マイナーな作では「本所立川」で、当時の材木問屋の状況を、「甲州三島越」では街道脇の巨木を三人の旅人が取り巻いても手が廻らない有様を描き、この構図は現代にも通じるものとなつています。

北斎といえは、「赤富士」「神奈川沖波裏」で知られる「富嶽三十六景」が有名ですが、その作品の中で当時（江戸時代後期）の「木材業」「庶民と樹の関わり」も描かれています。



北斎誕生二百五十年記念企画展 北斎展開催中！

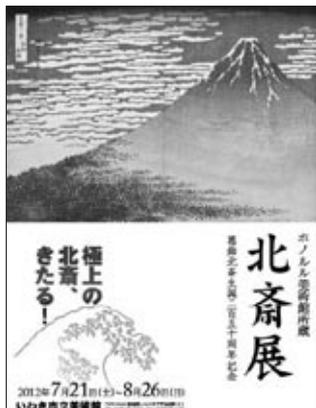
いわき農林事務所森林土木課 平野尚巳

いわき市立美術館

いた「浮世絵 富嶽三十六景」は富士山をメインテーマとしながらも、木の文化、樹との関わりを、「隠しテーマ」として伝えているような気がします。

いわき市立美術館でも、この震災により、事務室書類が散乱したり、建物周辺の歩道が陥没したりして、再開にはかなりのご苦労があつたようです。

震災から一年半となる今日、北斎展に限らず様々な企画展が計画されています。官民を問わず、復旧復興に全力を投じながらも、まだまだ震災前の状況にないのが現状ですが、復興業務の潤滑油として、美術鑑賞はいかがでしょうか？



北斎展（ホノルル美術館所蔵）
8月26日（日）まで



の施設

No.7

会津坂下町立坂下中学校

会津農林事務所

1 教育施設における木造化・木質化の推進

河沼郡会津坂下町では、平成二四年度には四幼稚園を二園、四小学校を二校に統合する教育施設適正配置事業を進めているところです。

このような中、町では教育施設の統合を契機に安全で安心な施設とすることに加え、生徒達が学習活動を展開する際の学びの場として、教育の質的向上に供する環境教育の整備・充実を図ることを念頭に、施設に木材を使用し生徒達に木のぬくもりを感じてもらおうことにより、森林環境に関する意識を高めてもらおうとしております。

具体的には、幼稚園の園舎は木造の新築、小学校は現存の中学校校舎を再利用するにあたり極力内装木質

化を図るなどとしており、町として教育施設に対する木造化、木質化の意識が高まってきております。

2 屋内運動場(体育館)の新築

本稿では、木質内装材の購入費用の一部に平成二三年度森林環境交付金事業(地域提案型重点枠)を活用した、統合中学校の屋内運動場(体育館)を紹介します。

当町では、昨年度まで町内に二つあった中学校を統合し、本年四月より町立坂下中学校として新たな歴史を刻み始めたところです。

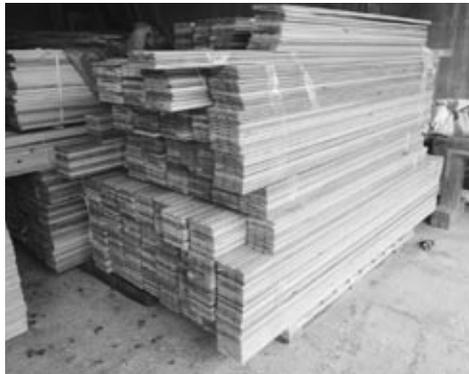
当中学校は、旧町立第二中学校の施設を再利用しており、統合による生徒数増には既存校舎の増築等により対応しておりますが、屋内運動場については昭和三八年度に建設された施設で老朽化が激しく、加えて耐震強度も懸念されていることから、統合を契機に新築されることとなりました。

3 規格・構造

新築屋内運動場は、床面積二、一八七・五平方メートル、主要構造は鉄筋コンクリート造の二階建て(木造小屋組)、木材使用量五五・一・五立方メートルのうち約八割は県産材及び国産材を使用しております。

内装材における、壁材、腰壁、二階ギャラリー及びキャットウォーク部の手すり支柱、ルーバーについては、地域産(会津産)のスギの乾燥材を使用しており、これら資材は会津産のうち特に両沼地区(河沼郡、大沼郡)を優先とした間伐材であります。

会津材の確保及び製材は、会津材



(写真1) 出番を待つ壁材



(写真2) ルーバー(塗装中)

を扱う地域の製材事業者で組織している河沼地区木材製材協同組合の協力により、産地・製材共に地元にとだわった地産地消を体現したものとなっております。(写真1、2)

当施設は、平成二三年度に着工、平成二四年十月に完成を予定し、十一月から使用を開始することとしております。現在は建設中ですが完成後に機会があればあらためて報告をさせていただきます。 (写真3)



(写真3) 現在、鋭意施工中

今後、当町はもとより会津地域、ひいては福島県内の教育施設や公共施設において木材を積極的に導入することにより、県内の森林整備が推進されることを期待すると共に、木材の活用・森林整備の推進について普及を進めて参りたいと思っております。

福島水源林整備事務所だより

うつくしま未来博 成果継承事業



今年も「うつくしま未来博成果継承事業」として、こども達やNPO法人「会津の森林を育む協議会」の人々によりコナラの植林地の手入れが行われました。

「うつくしま未来博」は二〇〇一年に須賀川市で開催された日本で初めて森林の中で開催された博覧会でありました。「自然との共生」がテーマで、大会宣言にもあるように、森で見つけた自然のすばらしさや先人達の豊かな知恵、ふるさとを守るボランティアの心を未来に引き継ぐために、大会期間中に自然に関する多数のイベントが行われました。会津若松市の「芦ノ牧水源の森」にある水源林造成事業の契約地内でも、「うつくしま未来博どんぐり倶楽部」が育てたどんぐりの苗木が博覧会開催記念として植樹されました。

翌年からは、このどんぐりの苗木を守り育てて未来博の理念を継承するため、地元NPOや小学生が中心となり下刈作業等の森林整備が始まりました。今年でうつくしま未来博成果継承事業も十一回目を数えました。紙面をお借りして、ボランティアのみならずの今年の活動状況を報告させていただきます。

七月二日（火）は気温が三五℃を超える猛暑日でしたが、一般公募で参加した会津若松市の行仁小学校や会津美里町の宮川小学校、本郷第一第二小学校生（二～六年生）二五人と保護者、地元NPOメンバー、後援者、関係者など総勢約五〇名が元気に下刈りを行いました。

主催者の会津の森林を育む協議会の穴澤会長の挨拶と、後援者である芦ノ牧財産管理会の芳賀会長、芦ノ牧区長の芳賀区長及び森林農地整備



写真1



写真2



写真3

センターの佐藤所長から歓迎の言葉を受けました。（写真1）その後、下刈り鎌の研ぎ方と使い方を教わりました。（写真2）

い、お弁当のおかずになりました。（写真4）財産管理婦人会の好意で振る舞われた豚汁はとても美味しかったです。（写真5）

ヘルメットを被り装備を整えた子供達はコナラ林に入り、汗まみれになって約一時間、鎌を振るいました。（写真3）暑さもあつて、さすがにバテた様子でしたが、休憩後のイワナのつかみ取りでは小沢の生け簀に入りイワナを手づかみにして大歓声を上げていました。

午後からは会津農林事務所森林林業部の渡辺主査と一緒に森林のネイチャーゲームを楽しんだ後は（写真6）、森林農地整備センターによる「森と木のこと」がわかる授業が行われました。第一部は高橋主幹による「森と木のお話し」で森と木について、クイズ形式で出題した後、回答と解説がありました。（写真7）難問だった



写真4



写真5



写真6

団体のページ

しきや楽しさ、山仕事の苦労や山の知恵など多くの事を学びました。



写真8

熱中症になった子も居らず、あつと言ふ間の五時間でしたが、子供達はこの活動を通して、森林と水の役割を知り、森林を大切にすると共に自然の厳

が難しかったようです。(写真8)

寺の建物には樹齢一〇〇〇年以上のヒノキ材が使用されていて、そのヒノキは法隆寺建立から二二〇〇年たった今でも立派に建物を支えています)



写真7

のは「木の家はコンクリートの家より寿命が短い」YESかNOで解した。(正解はNO、奈良の法隆寺)

木連だより

福島県の製材品は放射線量の自主検査を行っています

判断する目安として、一、〇〇〇cpm*の自主管理基準値を設定します。
*cpm (カウント・パー・ミニッツ)とは放射線測定器に一分間に入ってきた放射線の数
※法律で規定さ



福島県の木材業界では、製材品を安心して使っていたために、各工場において出荷の際に放射線量を測定しています。
1. 自主管理基準値
各工場が出荷する製材品の放射線量を測定し、管理基準の値を下回っていることを確認します。
なお、出荷を

れている放射線管理区域からの持出制限値一、〇〇〇cpmとなつている。
(一、〇〇〇cpm・ll・〇・〇三三μSv/h)
2. 測定方法
製材品の表面線量を測定していま



- ① 測定機器
GM管式サーベイメータ
- ② 測定回数(日数)
製材品出荷数量の多少により工場毎に定めます。
(例) 毎日あるいは製材品の出荷時ごとになど
- ③ 測定検体数
一検査時に検体(製材品)十本(枚)を抽出し、測定を行います。

3. 測定記録書の作成・保管
測定結果は「放射線量測定記録書」(別紙)に記録し、保管しておられますのでいつでも請求することができます。
この自主検査基準は、今後必要に応じて見直しを行うこととしています。

平成24年 月 日

放射線量測定結果報告書

福島県木材協同組合連合会
会長 磯田宗弘

放射線量測定に係る結果は下記のとおりです。

測定日時 平成 年 月 日 時

測定材 (樹種、産地)	
製材品名 (寸法)	
測定機型 (機種)	
測定条件	測定数 秒 (換算係数 3×10^{-5} Bq/cd・cpm)
測定結果 (単位cpm)	放射線量 = 平均測定値 (生データ) - バックグラウンド値 平均測定値 バックグラウンド値
備考	

<測定詳細>

測定値	測定値	平均測定値
①	⑥	cpm
②	⑦	
③	⑧	
④	⑨	
⑤	⑩	

測定場所

測定者

はなしの
ひろば

外来生物

今回は、動物の話です。

単身赴任生活から戻った年の春先、近くの雑木林からクロツグミの下手な囀りが聞こえてきた。甲高い声で節回しも少し変。聞こえてくる場所も樹の上からでなく林の中程からである。気になったので、注意して見ることに。数日、林の縁に出てきたのは、体が茶褐色、目の周りから後ろに眉状の白い模様がある。持っている図鑑の野生化した飼いの鳥の中にも入っていない。（図鑑が古かった）

正体は、飼いの鳥として輸入され野生化した中国南部等に広く分布する「ガビチョウ」と分かった。近年、生息域を急速に広げている種で、外来生物法で特定外来生物に指定され、生態系（在来野鳥）に与える影響が懸念されている。

また、ペットから野生化した動物として、アニメ「あらいぐまラスカル」で有名なアライグマがある。アニメがあまりにもすばらしいので、全国的に飼われるようになったが、結局は、大きくなって手に負えなくなり、飼育放棄したものが野生化している。成獣は気が荒く、人に危害を与える恐れもあるという。

数年前、奥羽大学の先生が行った阿武隈川支流でのミンクの生息調査結果が報道された。それによると、かなりの数のミンクが捕獲され、生息密度は日本有数とのこと。在来の貴重な両生類や魚類も餌として食べられ、その数が激減しているとのことだった。毛皮動物として飼育されていたものが逃げだし野生化した。在来のイタチとの競合が心配されている。

秋は、虫の声でその到来を実感してきた。「コオロギが鳴き出した。スズムシも…」などなど。しかしながら、近年、都市部の公園の樹木や街路樹から大きな（騒音に近い）虫の声が聞こえてくる。東京都で初めて記録されたが、帰化した時期や原産地などがはっきりしない外来昆虫のアオマツムシらしい。この虫が鳴いていると、他の虫の声は聞こえないほどである。

そういえば、以前、何かと話題になっていたハクビシン。最近はまだあまり話題になっていない。被害がなくなつたわけではないので、皆が諦め、受け入れてきているのだらう。新たな外来生物は話題になるが、ある程度時間が過ぎると忘れられ、いつの間にか市民権を得て日本の自然に溶け込んでいくことになる。

でも、春はガビチョウの囀り、秋の夜はアオマツムシの声では、少し寂しい気持ちになるのは私だけでしょうか…？

安達 堇風

表紙の写真



「突貫作業」

第8回ふくしま森林・林業写真コンクールで優秀賞を受賞した根本晴夫さん（白河市）の作品。

編集

福島県内四森林管理署

福島県森林・緑化協会

福島県森林組合連合会

福島県木材協同組合連合会

福島県農林種苗農業協同組合

福島県林業公社

森林総合研究所福島水源林整備事務所

福島県森林・林業・緑化協会

（福島市中町五番一八号県林業会館内）

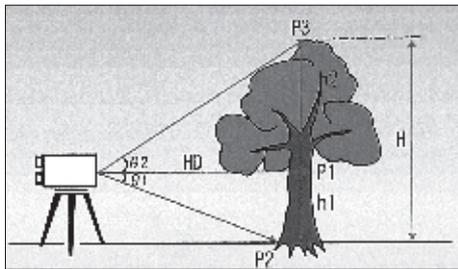
発行人

相馬 陽光社印刷株式会社

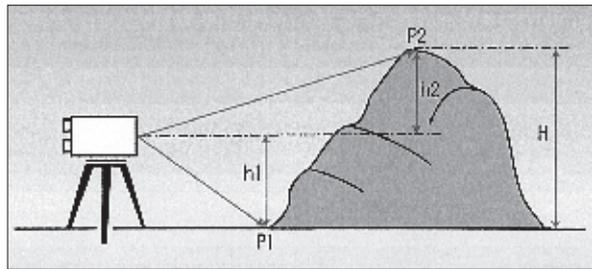
（定価 六三円）

高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合

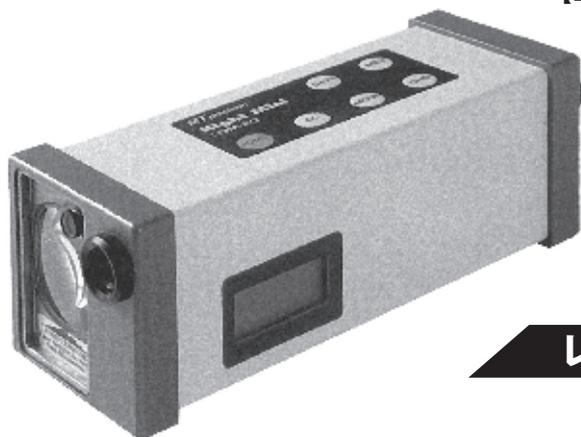


2. 堆積物等の山なり形状の場合



【LDM-20 仕様】

測距範囲	反射板 無30m 有300m
測距精度	± 5mm
傾斜センサー分析能	0.1
測定	高さ・水平距離・斜距離
寸法	W64・H64・D180
重量	650g
付属品	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



LDM-20

レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL 024-523-1706 FAX 024-523-1704

備えのパートナー 森林国営保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



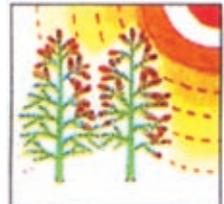
3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



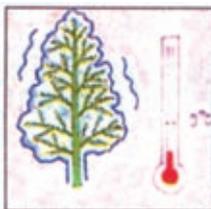
4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

- ◆ 県内各森林組合
- ◆ 福島県森林組合連合会

又は 県庁森林保全課
TEL 024-521-7441

イワフジのプロセッサ

GP-45V グラップルプロセッサ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を追求したプロセッサ

- 高耐久性を追求したフレームとトンク
- 全旋回を無くしたシンプル設計
- カッタ保持はシンプルなスプリング式
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラップル作業
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク
- 高速コンピュータGP-7による精度の高い安定した測尺
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能

Simple Processor
MODEL : GP- 45V

イワフジ工業株式会社

www.iwafuji.co.jp

北関東支店 〒969-1149 福島県本宮市本宮万世11-7
TEL 0243-34-5440 FAX 0243-34-5442

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・グラップルシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・ラジキャリアシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCC GROUP
住化グループ

自然との調和

(私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。)
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

野生獣類から大切な植栽木を守る

ヤシマレント

蜂さされ防止

ハチノックL (巣退治)
ハチノックS (携帯用)

**大切な日本の松を守る
住化グリーン[®]の林業薬剤**

ヤシマスミバイン乳剤
ヤシマスミバインMC
グリーンガードNEO
パークサイドF
ヤシマNCS
モリエートマイクロカプセル
マツグリーン液剤2
マッケンジー

くん蒸用生分解性シート

ちゅらシート (茶・白)
与作シート (茶・白)
(折りたたみ式
専用キャリーバック使用)



住化グリーン株式会社

本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4丁目5番4号
東北営業所 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3丁目10番3号 泉セントラルビル202号室

TEL.03-3523-8070 FAX.03-3523-8071
TEL.022-771-6681 FAX.022-771-6682

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

機器はゼノアから

排気量 **18.3cm³**
世界最小・最軽量、2.2kgの手のひらサイズ



G2000T 

20cm(8インチ)・SP ¥66,675(税込)
20cm(8インチ)・CV ¥72,765(税込)

排気量 **40.1cm³**
さまざまな用途に対応、本格プロ仕様シリーズ



G4211EZ 

40cm(16インチ)・SP ¥135,660(税込)
45cm(18インチ)・SP ¥137,865(税込)
40cm(16インチ)・H ¥135,660(税込)
45cm(18インチ)・H ¥137,865(税込)

使いやすさを追求したハンドルと
思いのアクセルワークが可能なトリガーレバー。



BC2711DW1-EZ

・防振ハンドルブラケット
・トリガーレバータイプ
チップソー ¥79,380 (税込)
笹刈刃 ¥78,330 (税込)

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店
(有)うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1